



マキノ民生委員  
児童委員協議会の皆さん



きらきらクラブ 学童保育所の皆さん

「くれよん」とかざぐるまは、市の放課後児童健全育成事業を推進する認可学童保育所です。マキノ地域内3小学校の児童が通う学童保育所であり、中学校に上がる前から小学校区を超えて交流できるのが特色です。活動内容は、屋内外での様々な活動のほか、遠足や発表会なども計画されています。

「児童同士が生き生きと活動し一人ひとりの成長に携われることが嬉しい。また、保護者の方の悩みに寄り添うことで各家庭の子育ての支えになればと思っています。」と先生方は仰います。地域の宝である子ども達の成長と親御さんの子育て環境の充実のために、努力を重ねる先生方の姿がありました。

マキノ民生委員児童委員協議会の皆さんは毎月2回、マキノ中学校の「おはよう運動」等に参加されています。粉雪が舞う寒い中でも昇降口付近で、登校する生徒に對して「おはよう! 今日頑張ってるね。」と明るく声掛けをされていました。生徒達も率先して挨拶する笑顔に、これまでの活動を通して良い関係が築かれているのが分かります。

委員からは、「参加することで、私達の方が子供達から元気を貰っている。毎月2回の活動だが、参加するのが楽しみ。」「本来、挨拶はマスクのない顔を見て元気よくするもの。コロナが早く落ち着いてほしい。」との声が聞かれます。寒さがまだ厳しく、朝は下を向いてしまいがちですが、中学生や委員の皆さんのように顔を上げ元気に挨拶をしてみませんか。春は意外とすぐそこまで来ていることに気付くかもしれませんよ!



当学童保育所を運営する「NPO法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ」では、「子どもだけでなく、職員と親もみんなで成長できる関わり」を目標に、一人ひとりの関わりを大切にされています。